

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興			
施策	(2)	市場特性に対応した誘客活動の展開			
主な取組 (施策名)	278	沖縄離島戦略的情報発信支援事業	離島振興 計画記載頁	81	
対応する 主な課題	沖縄県の39有人離島は、本島・本土からの交通アクセスや高い移動コストなどの課題を抱えており、一部の離島を除いて県外での知名度が低い。このため、個性豊かな伝統文化や自然環境等の魅力を活かした観光を推進し、滞在日数の増大や観光客一人当たりの消費額の増加を図ることが重要である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容	県外での知名度の低い離島において、住民や外部専門家等で構成する情報発信推進チームにより、島の魅力となる資源を特定し、情報発信戦略に基づく戦略的・効果的な情報発信を行う。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	5村 支援対象						県
	情報発信	栗国村、渡名喜村、北大東村、南大東村、多良間					
担当部課	企画部 地域・離島課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
沖縄離島戦略的情報発信支援事業	66,938	65,465	5村共同情報発信WEBサイト及びfacebookでの情報発信、モニターツアーの実施、ターゲットに適した雑誌広告等のプロモーション等、情報発信戦略に基づく情報発信を実施した。【一括交付金(ソフト)】	-
活動状況			活動実績値	
5村共同情報発信WEBサイト及びfacebookページを開設し、情報発信戦略に基づく情報発信を実施した。			31,906いいね	
推進状況		取組の効果		
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手		平成24年度開設した対象離島市町村のfacebookページについては、沖縄県内の他のfacebookページと比較しても閲覧者数が多いこと、掲載された投稿に対し、特に沖縄県外から多くのコメントが寄せられていることから、対象離島に関する県外での知名度向上につながった。		
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手		平成24年度開設した対象離島市町村のfacebookページについては、沖縄県内の他のfacebookページと比較しても閲覧者数が多いこと、掲載された投稿に対し、特に沖縄県外から多くのコメントが寄せられていることから、対象離島に関する県外での知名度向上につながった。		

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
-	0	粟国村、渡名喜村、北大東村、南大東村、多良間村の5村共同による情報発信	-

(3) これまでの改善案の反映状況

平成24年度で県事業が終了したため、今後は、5村共同で継続的に情報発信に取り組んでいく必要がある。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
81	国内客の離島訪問率	本島周辺 5.3% 宮古圏域 6% 八重山圏域 14.4% (23年)	-	本島周辺 7% 宮古圏域 7% 八重山圏域 18% (28年)	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状		傾向	沖縄の現状	
	5村共同情報発信フェイスブックいいね数	3,000いいね (24年)	31,906いいね (24年)	-	-	-
状況説明	参考データの平成24年度に開設した対象離島市町村のfacebookページについては、沖縄県内の他のfacebookページと比較しても閲覧者数が多いこと、掲載された投稿に対し、特に沖縄県外から多くのコメントが寄せられていることから、対象離島に関する県外での知名度向上につながっている。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

沖縄離島戦略的情報発信支援事業は、平成24年度をもって県の事業としては終了したが、今後も継続的に情報発信を行う必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

継続的に取り組んでいく必要があることから、5村で「おこなわプロジェクト推進協議会」を立ち上げ、情報発信に取り組むこととしている。

4 取組の改善案(Action)

沖縄離島戦略的情報発信支援事業にて構築したWEBサイト及びfacebookページ等は、平成25年度も協議会にて管理・運営を業務委託にて実施しているところだが、今後は、各村において継続的に管理・運営できる体制を整えるため、協議会にてWEBサイト管理者向け研修を実施していく。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(3)	観光客の受入体制の整備		
主な取組 (施策名)	280	多言語観光案内サイン整備事業	離島振興 計画記載頁	83
対応する 主な課題	外国人観光客の利便性向上を図るため、周辺案内サイン、誘導案内サイン等について多言語表記による観光案内サインの整備を行う。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	沖縄全域主要観光施設等を対象とし、外国人を含む観光客の利便性向上・観光客の周遊促進による観光消費の拡大を図るため、多言語観光案内サインの統一的な整備を行う市町村に対し補助を行う。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	多言語化した周辺案内、 誘導案内標識の整備		調査事業、整備必要箇所の検討				県
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
多言語観光案内サイン整備事業	125,047	109,566	宮古島市、石垣市、多良間村、伊平屋村、伊江村、南大東村、与那国町を含む、計15市町村へ支援し、27基の周辺案内版と130基の誘導案内版を整備した。周辺案内版は県にて2基整備し合計で29基。	
活動状況			活動実績値	
宮古島市、石垣市、多良間村、伊平屋村、伊江村、南大東村、与那国町を含む、計15市町村へ支援し、27基の周辺案内版と130基の誘導案内版を整備した。周辺案内版は県にて2基整備し合計で29基。			案内サイン整備数 29箇所	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	道路管理者との協議などに時間を要することや、他事業の進捗の影響などから事業計画申請に至らない市町村があったが、その他市町村への調整の結果、目標以上の成果を上げている。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	道路管理者との協議などに時間を要することや、他事業の進捗の影響などから事業計画申請に至らない市町村があったが、その他市町村への調整の結果、目標以上の成果を上げている。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
多言語観光案内サイン整備事業	120,792	多言語観光案内サインの統一的な整備を行う予定の14市町村に対し補助を行う。	

(3) これまでの改善案の反映状況

平成24年度事業で確認できた課題点について、平成25年度中に市町村ヒアリングのなかで対応方針を定め、平成26年度新規事業のスキーム構築を行う。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- ・外国人観光客の増加とその活動範囲の拡大。
- ・地域固有の名称の統一を図る必要性。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・今後の外国人観光客の増加、増加に対する各市町村の受入体制への認識の変化などを考慮し、整備必要箇所の再検証を行う必要がある。
- ・地域固有名称の県全体での統一や、名称が外国人への与える印象なども考慮した翻訳についてのルール作りの必要がある。

4 取組の改善案(Action)

周辺案内版の機能としては、近年増加してきたアジア諸国からの外国人観光客への受入体制整備として一定の成果を残した。今後は外国人観光客の動向の変化などについて、関係市町村との情報共有を図り整備体制を強化し、整備必要箇所の再検証を行う。また、既存表記の調査を行い外国語表記のルール作りに取り組む。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(3)	観光客の受入体制の整備		
主な取組 (施策名)	281	誰にでもやさしい観光地づくり形成事業	離島振興 計画記載頁	83
対応する 主な課題	中高齢や外国人観光客の増大に対応するため、公共施設や観光拠点施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化などに優しい安全・安心・快適な観光地づくりに取り組む必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	沖縄の観光産業の高付加価値化を図るため、観光関連事業者向けのバリアフリーにおける接遇スキルアップセミナー等を開催することにより、観光バリアフリーに対する意識啓発を図るとともに、障害者等の観光客の受入れを行っているNPO団体等を支援する。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	観光バリアフリーツアーをコーディネートするNPO法人への補助				→	→	県
	観光関連事業者に対するバリアフリーセミナーの実施						
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
誰にでもやさしい観光地づくり形成事業	50,500	49,774	平成24年度本事業において実施した障がい者・高齢者の受入セミナーを開催し、11地区、計266名のセミナー参加者があった。また、本事業において、公募したモデル事業を4件選定の上、実施した。	
活動状況			活動実績値	
平成24年度本事業において実施した障がい者・高齢者の受入セミナーを開催し、11地区、計266名のセミナー参加者があった。また、本事業において、公募したモデル事業を4件選定の上、実施した。			接遇スキルアップセミナー11回 沖縄観光バリアフリーを推進するNPO法人補助件数4件	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	平成24年度実施したセミナーにおいて、観光事業者のバリアフリー観光における接遇等のスキルが向上し、本事業において実施したモデル事業からは沖縄バリアフリー観光における関するアンケート調査より、障がい者を受け入れる際の受入側の接遇マナーの欠如や、それに対応する人材の育成等の対応が求められるなどの声があげられ次年度以降の課題抽出が図られた。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	平成24年度実施したセミナーにおいて、観光事業者のバリアフリー観光における接遇等のスキルが向上し、本事業において実施したモデル事業からは沖縄バリアフリー観光における関するアンケート調査より、障がい者を受け入れる際の受入側の接遇マナーの欠如や、それに対応する人材の育成等の対応が求められるなどの声があげられ次年度以降の課題抽出が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
誰にでもやさしい観光地づくり形成事業	23,027	①沖縄観光における障がい者等受入の際の留意事項等をまとめた「沖縄観光バリアフリーマニュアル」を作成②沖縄観光バリアフリーモデル事業の実施③県内観光関連事業者等を対象とした観光バリアフリーセミナーを開催	

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様取組を推進する。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

高齢者社会の進展、それと相まった障がい者の増加に伴い、社会生活におけるバリアフリー化は重要性を増しており、観光産業においても、観光客のニーズの多様化など、障がい者等の旅行参加ニーズが高まっている状況にあり、県では、これらを踏まえ更なる沖縄観光の質の向上を図りつつ、障がい者等の新たな層の観光客の取組に向けて、観光バリアフリー化を促進する必要がある。
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

昨年度実施したモデル事業からの課題やアンケート調査より、障がい者を受け入れる際の受入側の接遇など人材の育成があげられている。
--

4 取組の改善案(Action)

県内観光事業者等のバリアフリーの意識は、ある程度の効果はあったものの、まだ十分に定着してはいない状況にあることから、継続的なセミナーの開催や各種関連情報の発信などによって観光事業者の意識を啓発することや、障がい者等の受入の際、個々の福祉事業者にとどまらない観光や福祉事業者等と連携した組織体制の構築を図る必要がある。 今年度は、バリアフリー観光における受入の際の留意事項等をまとめた「沖縄観光バリアフリーマニュアル(仮称)」を作成し、県内観光事業者等の意識啓発を図る。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興
施策	(3)	観光客の受け入れ体制の整備
主な取組 (施策名)	282	圏域の拠点港湾の整備 離島振興 計画記載頁 83
対応する 主な課題	海の玄関口である港湾については、平良港、石垣港では、大型クルーズ船に対応した岸壁やターミナル整備等を進める必要がある。	

1 取組の概要(Plan)

取組内容	石垣港、平良港、本部港において、クルーズ船誘致に向け大型クルーズ船に対応する岸壁や旅客ターミナルビルの整備岸壁整備、ふ頭用地、防波堤の整備を推進する。								
年度別 取組予定		24	25	26	27	28	29～	実施主体	
	(石垣港)	岸壁・防波堤・泊地浚渫等					→	国 石垣市	
		大型旅客船ターミナル整備(H29暫定供用)							
	(平良港)	耐震強化岸壁整備						H29 漲水地区 供用開始 (I期)	国 宮古島市
	(本部港)	岸壁整備 ふ頭用地 防波堤	岸壁整備	岸壁整備				H31 事業完了	県
	耐震強化岸壁整備 H25供用開始 岸壁 H27年度 供用開始								
担当部課	土木建築部港湾課								

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
石垣港港湾改修事業	国直轄	国直轄	国直轄における、岸壁、防波堤、泊地の浚渫整備を促進した。	-
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
平良港港湾改修事業	国直轄	国直轄	国直轄における、耐震強化岸壁、ふ頭用地、臨港道路・緑地等の整備を促進した。	-
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
港湾改修費	1,072,955 (692,693)	1,031,297	岸壁整備、ふ頭用地、防波堤の整備を行う。【各省計上】	-
活動状況			活動実績値	
岸壁整備、ふ頭用地、防波堤			整備中	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	大型クルーズ船に対応可能な岸壁を整備し、クルーズ船寄港回数の増加を図るとともに、大規模な地震が発生した場合には、海上からの緊急輸送物資の輸送による災害支援・救助活動を円滑に行うことが出来る。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	大型クルーズ船に対応可能な岸壁を整備し、クルーズ船寄港回数の増加を図るとともに、大規模な地震が発生した場合には、海上からの緊急輸送物資の輸送による災害支援・救助活動を円滑に行うことが出来る。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	予算	活動内容	備考
石垣港港湾改修事業	国直轄	国直轄における、岸壁、防波堤、泊地の浚渫整備を引き続き促進する。	-
事業区分	予算	活動内容	備考
平良港港湾改修事業	国直轄	国直轄における、耐震強化岸壁、ふ頭用地、臨港道路・緑地等の整備を引き続き促進する。	-
事業区分	当初予算	活動内容	備考
港湾改修費	1,810,000	本部港は、国際クルーズ船が寄港可能な耐震強化岸壁工事中に台風の影響を受け被災したことから速やかに工事を完了させる。【各省計上】	-

(3) これまでの改善案の反映状況

<ul style="list-style-type: none"> ・石垣港と平良港は、計画通り進捗しており、前年度同様、事業の促進を図る。 ・本部港では、耐震強化岸壁の復旧工事について、国と早急に調整し申請を行ったことで、被災後速やかな工事着手が可能となった。
--

(4) 主な取り組みに対応する成果指標の達成状況

No.	主な取り組みに対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
34	宮古・八重山圏域におけるクルーズ船寄港回数	106回 (23年)	124回 (24年)	166回 186, 200人	集計中	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
		53回 (23年)	57回 (24年)	74回	-	-
状況説明	近年、外国船籍のクルーズ船が大型化しており、それに対応したバース整備が急務となっている。石垣港においては、クルーズ船寄港回数が順調に伸びてきており、さらなるクルーズ船寄港の増加に向けた大型旅客船ターミナル整備を推進することで、観光客の増加、経済波及効果が期待できる。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<ul style="list-style-type: none"> ・外国船社やその代理店から、大型クルーズ船を沖縄へ寄港させたいとの声が高まっており、大型クルーズ船に対応したバース整備が課題となっている。 ・平成24年度の台風11号、15号により、整備中であった耐震強化岸壁が被災を受けたことにより、平成25年度に予定していた耐震強化岸壁の供用開始が困難となっている。
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>国、石垣市及び宮古島市に対し、外国船籍の大型クルーズ船に対応した早期岸壁整備、CIQ施設等、受け入れ体制の強化を要望していく。</p>
--

4 取組の改善案(Action)

<p>県としては、引き続き、国、石垣市及び宮古島市に対し、事業の早期整備や必要予算の確保等の要望を行うなど事業の促進を図る。</p>
--

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興			
施策	(3)	観光客の受入体制の整備			
主な取組 (施策名)	284	歩行空間の整備		離島振興 計画記載頁	83
対応する 主な課題	離島地域は、島々で異なる個性豊かな自然環境、文化、歴史的遺産等を有しており、こうした離島の多様性は観光資源として大きな魅力となっている。世界水準の観光地としてふさわしい街とするため、花と緑あふれる道路空間や観光客が歩いて楽しめる歩道の整備、分かりやすい案内表示の充実、狭小性を逆手に利用した自転車による観光周遊等も求められている。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容	高齢者や障がい者など誰もが安心して快適に暮らせる生活環境を確保し、移動の円滑化や歩いて楽しい街づくりを推進するため、歩道未整備箇所や狹隘箇所、通学路等において歩道の設置を行う。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	1.5km 歩道整備延長	1.5km	1.5km	1.5km	1.5km	→	県
	歩道の設置						
担当部課	土木建築部道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
公共交通安全事業統合補助地域活力基盤創造交付金事業費(管理)	479,884 (175,179)	313,379 (175,179)	歩道未整備箇所や狹隘箇所、通学路等における歩道設置【一括交付金(ハード)】	—
活動状況			活動実績値	
国道390号(宮古管内、八重山管内)、長山港佐良浜港線等において、歩道を整備した。			歩道整備延長 0.7km	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	歩道設置により、誰もが安全に安心して暮らせる環境づくりにつながる。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	歩道設置により、誰もが安全に安心して暮らせる環境づくりにつながる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
公共交通安全事業	338,492 (166,492)	引き続き歩道未整備箇所や狭隘箇所、通学路等における歩道設置を推進する【一括交付金(ハード)】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様事業進捗を図る。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
	なし	(〇年)	(〇年)			(〇年)
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
		(〇年)	(〇年)	(〇年)	↗	(〇年)
状況説明	平成24年度から通学路の安全点検等を実施しており、その結果もふまえ、平成25年度には歩道必要箇所を選定する予定である。事業も順調に進捗していることから、引き続き目標達成に向け整備を推進する。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

歩道の整備には沿道地権者の協力が必要不可欠であるが、庭先のみや駐車場のみといった補償が多く、地権者の理解が得にくいという問題がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

事業の必要性や補償費の妥当性について根気強く説明し、理解を得ることが必要である。

4 取組の改善案(Action)

歩道の役割について住民の理解を得ることが重要であり、関係市町村の協力も得ながら、沿道地権者に対する十分な説明や情報提供を行い、用地交渉を進める。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(3)	観光客の受入体制の整備		
主な取組 (施策名)	285	宮古及び八重山圏域における離島拠点空港の国際線受入体制の整備 (土木建築部)	離島振興 計画記載頁	83
対応する 主な課題	宮古・八重山圏域は外国人観光客の需用増大が見込まれていることから、国際チャーター便受け入れを積極的に推進するための体制整備が課題である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	国際便運航の促進、空港利用者の利便性や快適性の向上を図るため、新石垣空港や宮古圏域の空港において、国際線旅客ターミナルビルやCIQ施設を整備する。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	新石垣空港 国際線旅客施設整備						
宮古圏域における拠点空港の 国際線旅客施設整備(調査、設計、工事)							
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
新石垣空港 整備事業	175,871	175,871	・ターミナル(株)に補助金を交付し、国際線ターミナルビルとCIQ施設を整備した。【県単等】	—
活動状況			活動実績値	
国際線ターミナルビルとCIQ施設を整備した。			1空港	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	・整備により、新たな国際線が2便就航した。 平成25年2月迄:2社 → 平成25年3月～:4社			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・整備により、新たな国際線が2便就航した。 平成25年2月迄:2社 → 平成25年3月～:4社			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業費	8,000	・宮古圏域の空港における国際線旅客ターミナルビルとCIQ施設の基本設計を行う。【県単等】	-

(3) これまでの改善案の反映状況

・計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
	なし					
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
	離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	↗	-
状況説明	・今年度は、新石垣空港の開港を機に、運休していた路線の運航が再開すると共に、定期化も見込まれていることから、目標に向けて順調に推移していくものと考えられる。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- 1)宮古圏域の2空港の役割分担の決定に時間を要したため、CIQ施設の導入時期が遅れることが懸念される。
- 2)宮古島市は沖縄観光コンベンションビューローや市の観光協会と連携し、韓国をはじめ近隣諸国のインバウンドに力を入れて始めており、宮古圏域においても外国人観光客が増えることが予想される。
- 3)新石垣空港では、県や石垣市が積極的に行ってきた観光プロモーション活動が奏功したことで、想定以上の外国人観光客の利用となったため、観光客からはターミナル施設の狭隘さが指摘されており、その対応を検討する必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- 4)宮古圏域のCIQ設計段階において国機関(税関、検閲など)、地元自治体、観光協会および航空事業者などの意見を取り入れ、適切なCIQ施設規模を決定する必要がある。
- 5)新石垣空港において、関係機関の意見集約を行い、今後の利用状況を見据えて、適切な規模を決定する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- 1)2)4)宮古空港のCIQ施設導入については、宮古圏域空港での空港のあり方を検討し、早急に地元関係機関や航空事業者、国機関と連携を図り、円滑に業務を遂行する必要がある。
- 3)5)石垣空港国際線ターミナルの増設については、県土木建築部、県文化観光スポーツ部、石垣市、ターミナル株式会社で構成する検討会議を設置し、適切な規模への増築に向けた検討、調査を行う。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(3)	観光客の受入体制の整備		
主な取組 (施策名)	286	新石垣空港の整備 (土木建築部)	離島振興 計画記載頁	83
対応する 主な課題	宮古・八重山圏域は外国人観光客の需用増大が見込まれていることから、国際チャーター便受け入れを積極的に推進するための体制整備が課題である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	今後、旅客数の増が見込める新石垣空港について、航空機の大型化に対応した滑走路の新設や、旅客数に対応するターミナルビルを整備する。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	空港整備 ターミナルビル 建設	H25.3月 開港					県、国 ターミナル(株)
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
新石垣空港 整備事業	3,106,530 (265,019)	3,095,919 (265,019)	・滑走路、場周道路および駐車場等を整備し、新空港を供用開始した。【内閣府計上】	-
活動状況			活動実績値	
空港本体、ターミナルビルを整備した。			1空港	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	・平成25年3月の開港により、旅客数が増となった。 平成24年3月:154,470人 → 平成25年3月:194,239人 (+39,769人)			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・平成25年3月の開港により、旅客数が増となった。 平成24年3月:154,470人 → 平成25年3月:194,239人 (+39,769人)			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
-	-	-	-

(3) これまでの改善案の反映状況

・前年度で事業完了。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
32	離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
	-	-	-	-	-	-
状況説明	・新石垣空港が開港したことで離島路線全体の旅客数は増加しており、また、LCCも就航することから、目標達成に向けて順調に推移していくと考えられる。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)離島空港の旅客数を伸ばすためには、空港地上業務体制の確保や島の魅力を積極的なPRが必要であり、関係機関と連携を図る必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

2)開港後、利用者や空港内事業者から空港施設を利用しやすくするよう改善要望があるため、利便性向上に向けて取り組む必要がある。
--

4 取組の改善案(Action)

1)航空路線の誘致活動や観光PR事業を所管する文化観光スポーツ部及び離島路線を所管する企画部と連携を図るため、観光・交通施策連絡会議を設置する。
2)空港施設の利便性向上を図るため、空港内事業者、地元石垣市、交通事業者およびビル会社等で構成する新石垣空港管理運用に関する連絡会議を設置する。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(3)	観光客の受入体制の整備		
主な取組 (施策名)	287	伊平屋空港の整備 (土木建築部)	離島振興 計画記載頁	84
対応する 主な課題	伊平屋島・伊是名島及び粟国島については、離島住民が圏域中心都市へ移動するのに時間がかかることから、伊平屋空港建設や粟国空港滑走路延長整備が強く求められている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	伊是名・伊平屋地域における生活利便性の向上や産業の振興を図るため、空港整備に取り組む。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	調査、設計			設置許可申請～空港整備		→	県、国
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	49,436 (23,625)	32,898 (23,625)	・伊平屋空港建設が周囲の環境に与える影響を検討したが、就航機材の決定に時間を要しており、航空会社を含めた関係機関との協議が遅れている。 【県単等】	—
活動状況			活動実績値	
環境影響評価書を作成した。			1空港	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	・環境影響評価条例に基づく評価書の手続きが完了し、着実に空港整備事業が進捗している。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・環境影響評価条例に基づく評価書の手続きが完了し、着実に空港整備事業が進捗している。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	16,538 (16,538)	・航空会社の就航同意を得る。 ・環境影響評価条例にかかる手続きを進める。【県単等】	-

(3) これまでの改善案の反映状況

・やや遅れているものの、早期に協議会を開催し、事業進捗を図る。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
32	離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
-		-	-	-	-	-
状況説明	・八重山圏域に新石垣空港が開港したことで離島航空路線全体の旅客数は増加しており、また、伊平屋空港の整備により3万2千人の旅客数の増加が見込まれることから、目標に向けて順調に推移していくと考えられる。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)航空会社は、新規の航空路開設に慎重である。 2)一般空港予算が大幅に縮減されている。 3)環境影響評価書知事意見を受け、計画を見直す必要がある。 4)伊平屋空港については、基本設計を完了し、環境影響評価の補正手続きを進めているところであり、今後は航空会社の就航に向けた協議に取り組む。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

5)知事意見を受け、施工規模の変更を行っており、変更案に対する合意形成を得る必要がある。
--

4 取組の改善案(Action)

1)3)4)5)就航条件について航空会社を含めた関係機関と協議を行うとともに、観光産業の活性化など、伊平屋村、伊是名村による積極的な航空需要の喚起を促進する。 2)国に対する予算要求において、伊平屋空港の新規整備の必要性を訴えていく。
--

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(3)	観光客の受入体制の整備		
主な取組 (施策名)	288	粟国空港の整備 (土木建築部)	離島振興 計画記載頁	84
対応する 主な課題	伊平屋島・伊是名島及び粟国島については、離島住民が圏域中心都市へ移動するのに時間がかかることから、伊平屋空港建設や粟国空港滑走路延長整備が強く求められている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	粟国地域における生活利便性の向上、産業の振興、持続可能な離島地域社会の実現を図るため、空港整備に取り組む。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	調査、設計	更新整備(滑走路、場周柵の維持補修等)				→	県
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	21,525	6,457	滑走路整備に必要な舗装強度などの調査を行った。【県単等】	-
活動状況			活動実績値	
既設舗装の調査を実施した。			4箇所	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	・関係機関等と綿密に調整を行うことで、地元自治体が求めている「空港施設」や「運航頻度」などの内容を得ることができ、平成26年度事業着手に向けて前進した。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・関係機関等と綿密に調整を行うことで、地元自治体が求めている「空港施設」や「運航頻度」などの内容を得ることができ、平成26年度事業着手に向けて前進した。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	15,068 (15,068)	・土木および照明施設の設計を行う。【県単等】	-

(3) これまでの改善案の反映状況

・計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
32	離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
-		-	-	-	-	-
状況説明	・八重山圏域に新石垣空港が開港したことで離島航空路線全体の旅客数は増加しており、また、粟国空港の整備により1万5千人の旅客数の増加が見込まれることから、目標に向けて順調に推移していくと考えられる。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)地元粟国村は、現在就航している機材(9人乗り)の大型化を要望している。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

2)国等の関係機関とも綿密に調整を図り、その結果を基本設計に反映させた上で、空港整備の方向性を決定する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

1)2)空港整備の方向性を決定するため、「粟国空港整備促進協議会」を開催し、地元の合意形成を図る。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(3)	観光客の受入体制の整備		
主な取組 (施策名)	290	交通拠点と観光地を連結する道路整備及び観光地間を連結する道路整備	離島振興 計画記載頁	84
対応する 主な課題	離島地域における観光客の移動の円滑化を図るため、空港、港湾、漁港等の交通拠点と観光地を連結する道路整備及び観光地間相互を連結する道路整備を進める必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	交通拠点と観光地を連結する道路及び観光地間を連結する道路の拡幅整備等を行う。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
			伊良部大橋完了			→	県
	平良下地島空港線(伊良部大橋等)の整備					→	
	石垣空港線の整備					→	
	1区間完了	3区間完了	3区間完了	4区間完了	1区間完了	→	
その他路線の整備					→		
担当部課	土木建築部 道路街路課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
活力創出基盤整備総合交付金事業費(国道・地方道)道路、地域活力基盤創造交付金事業費(道路)	9,273,116 (4,105,072)	6,744,396 (4,105,067)	平良下地島空港線(伊良部大橋)、石垣空港線等の整備を行った。【内閣府計上、一括交付金(ハード)】	-
活動状況			活動実績値	
平良下地島空港線(伊良部大橋)、石垣空港線等の整備を行った。			完了区間数:1区間	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	取組み完了後の効果として、離島地域における観光客の移動の円滑化にすることが期待できる。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	取組み完了後の効果として、離島定住条件の改善や生活基盤の充実が期待できる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
社会資本整備総合交付金(道路)、沖縄振興公共投資交付金(道路)	6,698,112 (2,528,715)	平良下地島空港線(伊良部大橋)、石垣空港線等の整備を行う。【内閣府計上、一括交付金(ハード)】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様、事業推進を図る。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
4	県管理道路(離島)の改良率	89.9% (21年度)	90.2% (22年度)	90.3% (26年度)	0.3	90.1% (21年度)
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
—		—	—	—		—
状況説明	目標達成に向け、県管理道路(離島)の改良率は着々と上がっており、離島地域の定住環境の確保につながっている。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

交通機能と沿道アクセス機能のいずれを優先するかや、景観、防災への配慮など、地域が道路に求めるニーズが多様化、複雑化してきている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

画一的な整備ではなく、多様化、複雑化する道路ニーズへの柔軟な対応が必要。

4 取組の改善案(Action)

情報共有を密に行うなど市町村と連携して地域特性の把握に取り組み、地域ニーズに柔軟に対応した道路整備を推進する。